

立教177年 教区担当者懇談会 開催報告

去る九月二十五日、第十二母屋に於いて、教区担当者懇談会を開催した。本年は各教区の委員長など主だった担当者に加え、まなびば担当者も参加対象とし、四十四教区より一〇四名の参加があり、盛大に行われた。

開催にあたり吉川委員長は、「天理教信者の三人に一人が、所属教会が所在する都道府県外に居住しているのが現状であり、所属教会からの声が届きにくい学生層の発掘と丹精が重要である。そのためにも教区を通しての横のつながりと、直属の縦のつながりの連携を進めていきたい」と述べるとともに、「高校生の集い『まなびば』や、教区での常時活動を通じて学生層を丹精し、春の学生おぢばがえり、教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会の増員へとつなげていただきたい」と挨拶した。

引き続き、三名の担当者の体験発表が行われた。まず、大江大教会学生担当委員会梅原啓次委員長（大阪教区副委員長）は、「学生たちをのびのびと活動させてあげることが一番。学生の若さ、元気、勢いが発揮できるよう、担当者はその活動の場を守る防波堤に徹することが大切。そして、思う存分に力を発揮させてやりながら、行事を通してにをいがけの大切さを伝える」と、自身の苦労話を交えながら、学生独自の爆発的な布教力を生み出すには、担当者が「ムシ」になることが先決であると訴えた。

続いて、熊本教区学生会元委員長の永島大三郎さんは、「春学の参加者ゼロ名から、二年で四〇名まで伸びたのは、担当者の先生のお陰」と学生会委員長当時を振り返り、「行事を欠かすことなく伝えてくださり、常に広い気持ちで温かい

声を掛けてくださったから、今の私がある。今後は担当者として恩返しをしたい」と決意を表した。

最後に、三重教区学生担当委員会樋口育夫委員長は、「学生会は学生たちの自主的な活動の場であるべき」と、それまでの体制を改革し、学生主体の会活動を推し進め、その理解を得るために各支部へ巡回したり、まなびばの啓蒙も学生とともに行ってきたことを述べた。「なかなか増員につながらないが、そんな中であつても、学生とともに笑い、泣き、感動させていたかった。これからも学生とともに歩んでいきたい」と発表を締めくくった。

体験発表後は、十四のグループに分かれてねりあいを行い、教区担当委員としての学生との関わり方について、また各行事を通じていかに学生をつないでいくことができるかなどを、熱心に話し合った。その後、九月例会をはさんで、第四食堂にて会食を行い、肩肘張らずに率直な意見を交換し、親睦を深め合った。

大学生の集い Work & Talk 開催報告

〓 四国ブロック

九月十三日から十四日にかけて、愛媛教務支庁を会場に「四国ブロック大学生の集い Work & Talk 2014 in 愛媛」が開催された。今回は「自ら前に」をテーマに、大学生、専門学校生二十一名の参加があった。

初日は班での話し合いを中心に進められ、二日目の朝には、愛布教所長後藤洋一先生の講話を聞きました。先生は自らの布教体験をもとに、「みなさんにとって、学校、バイト先、遊びの中の人間関係が布教の現場。自らの姿で教えを伝えてほしい」と学生にお話しくださいました。講話の後の質疑応答では、「スポーツを通して布教するには」など学生たちから様々な質問が寄せられ、後藤先生との有意義な時間を持ちました。また、徒歩十分で道後温泉に行けると

いう会場の利点を生かし、班ごとに温泉街の各所を巡り、指定された足湯を探し出す行事も行われるなど、学生たちは真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気でプログラムを進めていきました。

〓 北陸ブロック

十月十一日から十二日にかけて、石川教務支庁を会場に、およそ十年ぶりに「北陸ブロック大学生の集い Work & Talk 2014 in 石川」が開催され、「にをいがけ・おたすけ」をテーマに十三名の学生が参加しました。初日、緊張していた学生も、ウォーミングアップやグループワークを通して互いに打ち解け合い、次第に笑顔があふれるよう

になったところで、「おたすけ」をテーマに講義が行われました。学生たちの真剣に講義を聞く姿が印象的でした。

二日目には、にをいがけ講話やにをいがけについてのねりあいが行われ、自分の意見を話し合いました。その後、実際に神名流しや戸別訪問を行い、学生は緊張しつつも勇んでつとめました。

今回のプログラムを通して、学生たちは同じブロックの仲間たちと交流を深めることができました。また、にをいがけやおたすけについてたくさんのかんことを感じ、学ぶことができた充実した二日間となりました。

● 参加者の声

今回初めての参加で、面白い行事もたくさんあったので本当に楽しかったです。学担の先生方は優しく面白く方ばかりでした。そのおかげで、愛媛が大好きになりました。これからもこのつながりを大事にしたいです。

（大学一年生 女子）

立教177年道の学生ひのきしんDAY
参加人数集計

教区	参加人数	教区	参加人数
北海道	86	京都	48
青森	4	大阪	136
岩手	11	兵庫	56
宮城	8	奈良	49
秋田	10	おやさと	211
山形	4	和歌山	58
福島	11	鳥取	5
茨城	11	島根	10
栃木	3	岡山	15
群馬	12	広島	12
埼玉	24	山口	21
千葉	29	徳島	4
東京	67	香川	3
神奈川	32	愛媛	11
新潟	45	高知	6
富山	5	福岡	45
石川	9	佐賀	11
福井	6	長崎	4
山梨	5	熊本	29
長野	15	大分	10
岐阜	16	宮崎	5
静岡	16	鹿児島	16
愛知	78	沖縄	11
三重	24	台湾北部	14
滋賀	16	合計	1337

※10月16日現在

道の学生ひのきしんDAY 開催報告

2014.09.15 あふれる感謝と喜びを、さあ広げよう!!

九月十五日、「あふれる感謝と喜びを、さあ広げよう!!」をテーマに、「道の学生ひのきしんDAY」が開催され、一、三三七名の学生が参加しました。(十月十六日現在)

○愛知教区学生会

愛知教区学生会尾張ブロックでは、小牧大教会でのひのきしんに十五名の学生が参加しました。全員でおつとめをした後、大教会内の除草を行いました。青空の下でのひのきしんに自然と笑顔がこぼれ、学生たちは勇んでひのきしんに励みました。

昼食後には班対抗ゲームを行い、同じ班の学生が協力し合い、大いに盛り上がりました。今回のひのきしんや班対抗ゲームを通して、学生同士が親睦を深めた一日となりました。

○兵庫教区学生会

兵庫教区学生会神戸ブロックでは、献血の呼び込みを行い、十八名の学生が参加しました。

神戸三宮駅周辺で、ポケットティッシュを配りながらの呼び込みやマイクでの呼び込みを行いました。緊張していた学生たちもだんだんと笑顔となり、勇んでひのきしんに励みました。ひのきしんの時間が終わった後も、数人の学生は引き続き大声で献血の呼び込みを行い、非常に勇んだ一日となりました。

○愛媛教区学生会

愛媛教区学生会では、十一名の学生がひのきしんDAYに参加しました。玉津分教会から加茂川へ向かい、河川敷でのゴミ拾いを行いました。

午前中は始めにウォーミングアップを行い、緊張をほぐしました。その後、ひのきしん会場である加茂川ではできる限りのゴミを拾って河川敷をきれいにしようと意気込む学生の真剣な姿がありました。

午後からは玉津分教会でゲームを行い、お互いの繋がりを深め合った一日となりました。

青空

学修寮係員を務めさせていただいたある年の夏。A子ちゃんはなかなか班に馴染めず、救護室で過ごす毎日だった。行事にもほとんど参加できずじまい。しかし最終日、彼女は少しの笑顔をのぞかせた。「いつもそばに居てくれてありがとう……」一言。裏方スタッフだった私にも、帰り際声をかけてくれた。

彼女にとつての学修。それはこのおぢばで、教祖のお膝元で生活をする、そのこと自体が彼女の学修だったようだ。

A子ちゃんとは他の学生と同じプログラムを経験したわけではないが、このおぢばで過ごしたという事実が大きな宝物となり、教祖の温かさを感じられたに違いない。

多くの学生のいろいろな姿に関わることができたこの御用では、私自身もたくさんの先生方、スタッフを通して、信仰の喜び、おたすけの喜びを学ばせていただいた。今の私にできることとして、一人でも多くの学生が、このおぢばで、教祖の温かい懐の中で一週間を過ごしてもらえよう、身近な学生に声掛けをし、信仰の喜びを共に感じ、通らせてもらいたい。

元本部スタッフ 元木みな

立正佼成会の学生との交流会 開催報告

九月十三日、立正佼成会の学生寮学林光澍大学科の学生四十一名がおお、ばに帰り、南右第二棟三階にて天理教の学生十三名と交流会を行いました。一行はお、ち、ば到着後、まず教会本部を参拝、基礎講座を受講されました。続く交流会では、初めに学生担当委員会秋岡副委員長の挨拶がありました。初めは緊張していた参加者も次第に気持ちがあほぐれ、続いてウォーミングアップを行うことで、笑顔に包まれていきました。

その後、それぞれの活動を紹介し、互いの教えに対する疑問や興味のあることを出し合、い、学生ならではの等身大の質疑応答がなされました。

最後に、立正佼成会の担当先生よりご挨拶をいただき、記念撮影をして締めくくりました。和やかな雰囲気の中にも、真剣に互いの話を聞く学生の姿が多く見られ、自身の信仰を見つめなおすことができた、とても有意義な交流会となりました。

教会につながるDAY 開催報告

○本島学生会

・期日 六月二十一日～二十二日
・参加人数 六名

本島学生会では、大教会の月次祭前日と当日に開催され、初日にはレクリエーションで交流を深めました。二日目は、月次祭を参拝し、祭典後のひのきしんを通して学生会の活動を多くの人に知ってもらうことができました。学生たちは今回の行事を通して、教会につながる大切さを改めて感じることができました。

○北洋学生会

・期日 八月二十日～二十一日
・参加人数 十四名

今回で三回目の開催となる教会につながるDAYでは、学生たちは鳴物練習やおてなをしを真剣につとめ、ひのきしんに励みました。また、スポーツ大会などレクリエーションを通して互いの親睦を深め、大変有意義な行事となりました。

○参加者の声

この行事をつくるためにたくさんの方々動いてくれました。スタッフは話し合いのために会議を重ねました。学生担当委員の先生には自分たちの考えたプログラムができるように準備をお願いしました。本当にたくさんの方々のおかげで行事をすることができました。これから同じ直属につながる仲間と学生会を盛り上げていき、教会の方々に喜んでもらえるような活動をしていきたいと思っています。



第五十一期 天理教学生会 秋期直属学生リーダー講習会 開催報告

九月二十七日から二十八日にかけて本部第十二母屋を宿舎とし、「立教百七十七年秋期直属学生リーダー講習会」が開催されました。この講習会は「道の学生がお、ち、ばに帰り集い、直属学生活動の意義を認識し、今後の活動を充実させていく上での糧となるようなつながりを持ち、道の学生のリーダーとしての意識の向上を図る」という趣旨のもと、天理教学生会直属部が主催したもので、直属・教区から六十二名、スタッフ三十一名、計九十三名が参加しました。

初日は、まず全体でウォーミングアップを行い参加者の緊張をほぐした後、「学生の信仰と教会」というテーマでプログラムが進められ、学生活動の意義を考えました。夜には各直属学生会の今後の活動に生かすことを目的とした「ゲーム講習会」が行わ

れ、参加者は楽しい雰囲気の中でゲームを学びました。

二日目には、学生担当委員会茶谷良佐委員より「教会とお、ち、す、け」についての講話があり、教会につながることの大切さを学生たちに伝えられました。その後、講話の内容を踏まえながら、自分と教会との関わりを振り返り、教会の大切さについて考えました。その後、に、を、い、が、け、の時間が持たれ、十二母屋から三つのルートで神名流しをした後、天理駅前で路傍講演、よろづよ八首をつとめました。当日は天候にも恵まれ、陽気に勇んでつとめることができました。午後からは直属部が推進する「道の学生教会につながるDAY」実施の呼びかけがなされました。

この講習会を通して、学生たちは直属学生会のリーダーとして自覚を高め、それぞれの学生会の活性化につながる大変有意義な時間を過ごしました。

Happist 12月号 予告

【特集】年末、大掃除をしよう！

連載

・教理コーナー

おやさまのお言葉を身近に 中山 慶治 (本部員／本明寛分教会長)

・輝く生き方見つけよう

Key Person 格闘家 武蔵

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて 小崎 浩司 (宇龍分教会長)

・マンガ

空色カレイドスコープ ニシカワヨウコ

明日につながる学生マガジン **Happist 12**

個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

立教178年 春の学生おぢばがえり

開催要項

『立教178年春の学生おぢばがえり』を立教178年3月28日に開催いたします。日々、「道の学生成人目標」を実践し、成人を目指すと共に、教祖130年祭に向かうこの旬にたくさんの方とおぢばに帰り集いましょう。そして、親神様、教祖にお喜びいただきましょう。

趣 旨

道につながる学生が一人でも多くの友とおぢばに帰り集い、真柱様のお言葉を頂戴し、をの思いに心を揃え、陽気ぐらし世界建設への有為なるようぶくを目指して、歩んでいくことを誓い合う。そしてこの日を通して、教祖130年祭、また教祖130年祭学生おぢばがえり大会に向かって、さらに勢いをもっておたすけを実践していく。

テ ー マ

世界の友にをの思いを～たすけの旬に、喜びの心で！～

道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

期 日：立教178年（平成27年）3月28日（土）

動員目標：6000名

内 容：式典「真柱様お言葉」 午前9時 本部中庭
 直属アワー 午前11時
 別席 正午より受付
 後夜祭『春まつり』 タつとめ後 東西泉水プール前広場

参加対象：高校生（新1年生を含む）、大学生、短期大学生、大学院生、専門学校生など

《問い合わせ》 春の学生おぢばがえり実行委員会・天理教学生担当委員会

〒632-0035

奈良県天理市守目堂町213-4 おやさとかた真南棟3階

Tel 0743-63-1511 内線 5820（春の学生おぢばがえり実行委員会）

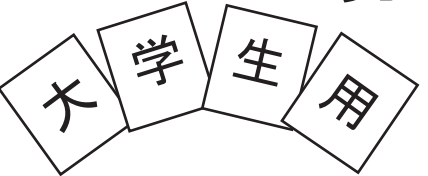
Tel 0743-63-2489 （天理教学生担当委員会事務局）

お せ ち

立教178年

学生ひのきしん隊

募集要項



対 象 大学生、大学院生、短大生、専門学校生
で全期間参加できる者
期 間 立教178年1月4日（日）～7日（水）
受 付 1月4日12時30分（時間厳守）
本部第12母屋
※学生証提示のこと
※昼食を済ませて集合してください
解 散 1月7日16時（予定）本部北2駐車場
宿 泊 本部第38母屋または第12母屋
募集人員 300名
参 加 費 2,000円（教区・直属学生担当委員会に納めてください）
内 容 ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、
学生ひのきしん隊の運営、他
申込方法 教区・直属学生担当委員会まで、参加費・
返信用封筒（12/21以降に受け取れる住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えて申し込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※保護者の承諾書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切 12月15日 本部学生担当委員会事務局必着
※申込書に【世話班・大学生班】のいずれかを希望してご記入ください。世話班、大学生班班長を担当する方には、下記の直前研修会に参加していただくことになります。

《直前研修会のご案内》
日 時：1月4日9時（集合・受付）時間厳守
場 所：本部第12母屋
研修内容：ひのきしん内容、世話班・大学生班班長の役割について



対 象 高校生で全期間参加できる者
期 間 立教178年1月4日（日）～7日（水）
受 付 1月4日14時30分（時間厳守）
本部第38母屋または第12母屋
※生徒証提示のこと
解 散 1月7日16時（予定）本部北2駐車場
宿 泊 本部第38母屋または第12母屋
募集人員 300名
参 加 費 2,000円（教区・直属学生担当委員会に納めてください）
内 容 ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、
別席、親睦行事、他
申込方法 教区・直属学生担当委員会まで、参加費・
返信用封筒（住所、保護者氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えて申し込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※病院受診についての同意書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切 12月15日 本部学生担当委員会事務局必着

◆参加するにあたっての注意事項◆

- ◎期間中に別席を運ぶ方は席札を持参してください。尚、初めて別席を運ぶ方は願書などが必要となりますので教会と相談の上、必ず『別席の誓いの言葉』を覚えてくるようにしてください。
- ◎団体行動ですので、飲食物及び、ポータブルオーディオ、ゲーム等は持ち込まないでください（差し入れもできません）。
- ◎ひのきしん中の携帯電話・PHSの使用はご遠慮ください。

立教177年 冬期直属学生リーダー講習会 要項

【日程】

12月13日（土）9時30分集合
12月14日（日）15時解散

【参加対象】

各直属教会・教区学生会のリーダー層（高校・大学生層）
※学生会が結成されていない直属教会からのも是非ご参加ください。

【参加定員】

各直属教会・教区学生会3名まで

【参加費】

ひとり 1,000円（当日にお持ちください）

【宿 舎】

本部第2母屋

【内 容】

講話、レクリエーション、第52期天理教学生会委員長の所信表明演説
練り合い「直属学生活動の意義」「道の学生 教会につながるDAY」
「立教178年 春の学生おちばがえりについて」

【問い合わせ】

天理教学生担当委員会 事務局
TEL 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
天理教学生会直属部 部長 鈴木 寿男

「まなびば」開催会場一覧 《11月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
愛知 ※下記参照	11月1日13時～2日15時	愛知詰所	速水	
広島	11月1日13時～2日14時	さぎしま セミナーハウス	巻幡	
愛媛	11月1日13時～2日14時30分	教務支庁	酒井	
神奈川	11月8日13時～9日14時	濱華分教会	細矢	
新潟	11月8日15時～9日15時30分	教務支庁	中村	
大阪 (5ブロック)	11月8日13時～9日16時	大鳥大教会/ 和泉市立体育館	阪口	
福島	11月29日14時～30日13時	国立磐梯 青少年交流の家	國分	
愛知 (北部ブロック)	11月29日13時～30日15時	本愛詰所	渋谷	

※愛知教区は知多・南部ブロック
☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

立教177年 HARP研修会 募集要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。
この度、下記の通り「HARP研修会」を開催いたします。今回の研修会では、**〈体験コース〉**
〈トレーナーコース〉 **〈プログラミングコース〉** を設けます。
各種育成行事の充実にご活用いただきたい上から、学生層育成に関わる方はぜひ一度、ご受講
いただきたいと思います。また、学生層育成を担う人材づくりの上からも、婦人会、青年会、少年
会に携わる皆様にも幅広くお声がけください。

◎日 時

立教177年11月27日（木）～29日（土）
集 合：27日9時00分 第12母屋 解 散：29日11時30分 第12母屋

◎会 場

第12母屋、第8・9母屋

◎定 員

・**体験コース** …50名 ・**トレーナーコース** …50名
・**プログラミングコース** …50名

◎受講費

4,000円

◎携行品

ハッピー、保険証、その他合宿に必要なもの
・女性の方はズボン着用でご集合ください。
・**〈トレーナーコース〉 〈プログラミングコース〉** 受講の方で『HARP～確かな理解とその使い方～』をお持ちの方はご持参ください。
【当日会場でも販売します（頒価500円）】

◎申込み

申込み用紙に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申込みください。
11月17日（月） 締め切り（定員になり次第締め切ります）
キャンセルの場合必ずご連絡ください。11月25日以降のキャンセルについては
受講費の返却はできませんのでご了承ください。

◎お問い合わせ

天理教学生担当委員会事務局 Tel 0743-63-1511 0743-63-2489（直通）

立教177年 冬期教区学生リーダーの集い 開催要項

【日 程】

12月23日（火）15時集合（予定） 12月25日（木）16時解散（予定）
※変更がある場合は後日、発送をもって連絡させていただきます。

【参加対象】

各教区学生会・直属教会の学生委員長及びリーダー層
※学生会が結成されていない直属教会からのも是非ご参加ください。

【参加人数】

各教区学生会・直属教会4名まで

【参 加 費】

ひとり 1,500円（当日にお持ちください）

【宿 舎】

本部第12母屋

【内 容】

『第52期天理教学生会委員長の所信表明演説』
『立教178年春の学生おちばがえり』 に向けての練り合い 等

【問い合わせ】

天理教学生担当委員会 事務局
TEL 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
天理教学生会教区部 部長 高橋 理治

10